

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）

第 14 回シンポジウム開催報告

飯野 孝浩

東京大学情報基盤センター

1. 概要

7月7日・8日の2日間に渡って、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）の第14回シンポジウムがハイブリッド形式で実施された。今年度より会場を東京コンファレンスセンター・品川へと移し、2セッションパラレルかつハイブリッド形式での実施となった。依然続く COVID-19 の感染蔓延の中、懇親会の実施は見送り、また発表者の発表形式（オンライン・現地）の選択も任意とした。招待講演には自然言語処理の若手の第一線研究者である Rui Zhang 氏（ペンシルベニア州立大学）をお招きし、「Contrastive Learning for Natural Language Processing」と題して講演をいただいた。ポスターインデキシングでは短時間の動画を連続投影し、オンラインのポスター発表は Slack を用いて非同期で実施した。2年ぶりの現地開催であり、対面での共同研究のネットワーキングや交流が行えたことは喜ばしいことであった。参加登録者は約 330 名であり、オンライン実施であった昨年度（350 名）とほぼ同数であった。2. に当日のプログラムを示す。詳細はシンポジウムのウェブサイト（<https://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/sympo/14th>）を参照されたい。

最後に、シンポジウムの形式変更と感染蔓延が重なり、毎年のように実施形態が変更される中、ご協力いただいた発表者・参加者の皆様、また運営に当たってくれた当センターの皆様に感謝申し上げます。

2. プログラム

7月7日（木）

10:00～10:10 主催者挨拶：総括拠点長 田浦 健次郎（東京大学 情報基盤センター長 教授）

10:10～10:20 来賓挨拶：藤澤 亘様（文部科学省 学術基盤整備室長）

10:20～16:40 オーラルセッション（ハイブリッド）

16:40～17:40 ポスターインデキシング（ハイブリッド）

17:40～18:40 ポスターセッション（現地会場）

7月8日（金）

9:30～10:30 招待講演（ハイブリッド）

11:00～17:00 オーラルセッション（ハイブリッド）

17:00～17:20 閉会挨拶：共同研究課題審査委員長 滝沢 寛之（東北大学 サイバーサイエンスセンター 教授）

※オンラインでのポスターセッションは会期を通じて実施